

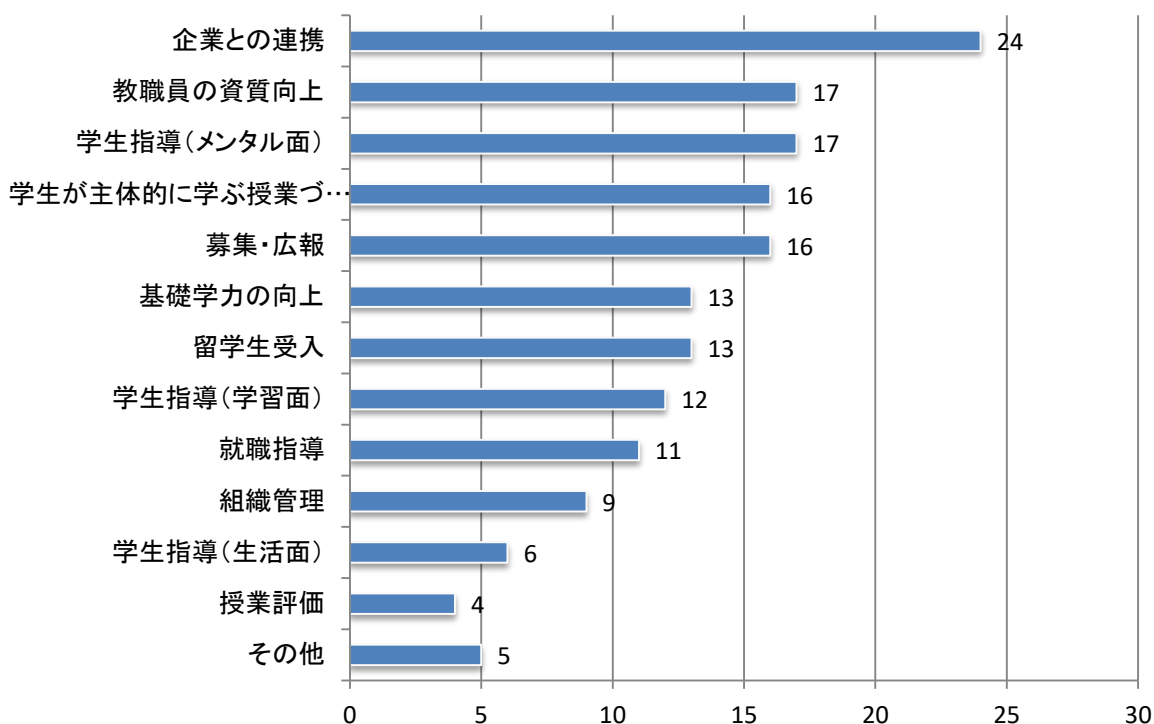
一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)  
平成31年度 研修ニーズアンケート  
教員・職員

- 調査時期  
平成31年3月15日～平成31年4月15日
- 発送数 71 件(校)
- 回答数 23 件
- 協力校数 49 校
- 回答率 69.0 %

問1. 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているものに○を付けてください。

S.no	項目	回答	%
1	企業との連携	24	49.0%
2	教職員の資質向上	17	34.7%
3	学生指導(メンタル面)	17	34.7%
4	学生が主体的に学ぶ授業づくり	16	32.7%
5	募集・広報	16	32.7%
6	基礎学力の向上	13	26.5%
7	留学生受入	13	26.5%
8	学生指導(学習面)	12	24.5%
9	就職指導	11	22.4%
10	組織管理	9	18.4%
11	学生指導(生活面)	6	12.2%
12	授業評価	4	8.2%
13	その他	5	10.2%
	合計	163	-

※%の母数は回答者数(=49)、複数回答、回答の多い順に並べ替え



#### 【その他の回答】

- ・職業訓練サービスガイドラインに則った各種エビデンスとはどういったものかが分からない
- ・広報活動の時の写真の取扱いやアンケートの取扱い
- ・教員確保
- ・事務処理の能力向上
- ・働き方改革への対応

問2. 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■教員の教育力向上：教授法、授業の作り方、技術習得、教材開発など</b>						
1	・キャラクターデザインセミナー ・アニメーションセミナー	東京・大阪の2会場に約20年間ウォルト・ディズニー・アニメーションスタジオに在籍、制作に参加した講師を招き、キャラクターデザインのコツの話の他、クリエイティブに関する質問も受け付ける。講師/アーロン・ブレイズ氏 ワコム主催	・魅力的なキャラクターに仕上げる方法を学べる ・デモを見ながら、ストーリー構成や発想の源となる部分の視野を広げられる。	学生、一般	1日(4時間)	10月中旬
2	AI	情報系教員のための「AI(人工知能)・機械学習の活用技術研修会」8/23,24実施研修をもう一度行ってほしい	応用		2～3日	
3	AI基礎	AIについて学ぶための基礎理論など	AIについて学ぶための基礎を理解できる	IT系技術教員	2～4日	8月9月
4	AIライブラリ活用	AIを実現するためのPython向けライブラリの活用法など	AIを実現するためのPythonを使ってAIプログラムを書けるようになる	IT系技術教員	2～4日	8月9月
5	IoT	ビッグデータおよびデータ分析	基礎・応用		3日	
6	IT最新技術セミナー	ネットワーク、ローカルサーバ構築				
7	RPA	RPA入門 座学・実習		教員	2～3日	8月
8	アクティブラーニング	講義と授業実践、ロールプレイング	授業内に取り入れ実践できるレベル	教員	1日	2月
9	アクティブラーニングセミナー	講師による講演・模擬授業を通し、学生の学ぶ意欲を引き出す授業事例を体験、実践研究	アクティブラーニングの理解および模擬授業、授業計画の作成	教員	2日	夏/冬
10	学生が主体的に学ぶ授業づくり	専門学校の教師になる方は、教師の経験が無い方が多いので、学生が主体的に学ぶカリキュラムの作り方及び授業の方法などが学べる研修	学生が主体的に学べるカリキュラムが作れて指導ができる。	新人教員	5日	4月
11	学生主体の授業運営	専門分野ごとの教材や授業運営事例発表	初級～中級	専門分野教員	1日	冬
12	学生のモチベーションアップ	ワークショップ形式	スキルの習得・獲得	講師	1～2日	6時間
13	観点別評価	思考力・判断力・表現力や意欲・態度などを評価する上での規準・基準の設定と具体例の紹介 講義形式、ワーク形式	自分で観点別評価表が作成できるレベルまで到達して欲しい	教員	1～2日	
14	教員の指導力向上	経験年数や担任クラスの状況、学科の特性に応じた内容	新規採用者・中堅・ベテラン等 各レベルに応じた目標	全教員	3日	2～3月
15	教員向けの生徒との接し方に関するセミナー	事例発表セミナー				
16	教授力	自主的に発言するためのグループワーク指導法	初心者向き		2日	夏

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
■教員の教育力向上：教授法、授業の作り方、技術習得、教材開発など						
17	組込みで利用できるAIプログラミング	最新技術の動向及びプログラミングの作り方	AIのプログラムが出来る	IT系教員	2～3日	
18	最新教育プログラムの導入事例	インターネット上のグループウェアやサービス、ドローン、GoogleApps: VR等様々な最新技術の教育導入事例	・講義(専門家による) ・事例紹介 ・実習	教員	1～2日	各半日～ 全日
19	授業教材開発・デジタル教材セミナー	適切な授業教材開発の教授、事例発表形式。デジタル授業ツールの使い方や使用例などPC・タブレットなどの取り入れ方など。	事例発表・使用例の理解。初級レベルでの授業教材の採用レベル。	教員全般	半日～全日	夏期
20	授業指導に関するもの	・授業内容の組み立て方 ・教団での立ち居・振る舞い	学習目標やシラバスに沿った授業のプランニングができる	教員	1日	
21	新学習指導要領に伴う、専門学校におけるプログラミング教育について	他校の事情を知るための事例発表セミナー 情報交換を目的としたディスカッション形式のセミナー		プログラミング担当教員		
22	新人教員教育プログラム	・他校の事例 ・スタンダードな教育プログラムをグループワークで考える	・事例を知る ・グループワークで理想のプログラムを発表	中間管理職以上	1～2日	各半日～ 全日
23	性格の違う学生のまとめ方	講義形式	初級レベル		1日	3月
24	先端IT技術	AI・データサイエンスワークを含めた体験型の研修。業務で技術を活用しているエンジニアと講師をペアで実施。	現在の業務で活用されている技術の理解	教員	2日	8月
25	著作権教育の必修化について考える	超・情報化社会と著作権からみるコンテンツの魅力・難しさについて、またこれからの「著作権教育」がどのような影響をもたらすかについて。株式会社ゼンリン 西幹真一郎氏、株式会社エクシング 堀江康明氏らがディスカッションをする。	著作権を含む知的財産権全般について教職員内教育に注力することで学生が制作する中で適切に指導ができる。	一般	1日	10月初旬
26	デザイナー向けのプログラミング基礎 ・ゲームエンジン ・P.M ・VR	講義/演習/教材	コンテンツ開発に必要な基礎知識レベル	学生教員		
27	デザイン思考	デザイン思考の活用による授業展開ならびに学生指導への応用	デザイン思考の理解	教員	2日	8月
28	日本人の日本語教育について	新井紀子氏の「AIvs教科書が読めない子ども達」にあるように、読解力が低い高校生が目立つようになった。どのような授業を行えば読解力を高めることができるのか専門家から指導を受けたい。		教員	2日	夏
29	ビッグデータ データサイエンティスト	ビッグデータの活用法 座学・実習		教員	2～3日	8月
30	無料アプリの活用について	学校生活を送る上で便利な無料アプリの紹介と活用法		教員	半日	8月
31	IT系講義について	IT系講義方法/グループワーク方法		教員	1日	7～8月

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■学生指導：メンタルヘルスケア（カウンセリング）、発達障害に対するケアなど</b>						
32	学生カウンセリング メンタリング	コミュニケーションの苦手な学生へのカウンセ リング研修 学習意欲の低い学生へのメンタリング研修	カウンセリング メンタリング技術の理 解	教員	2日	8月
33	学生指導	メンタル面を把握するためのガイダンス方法 や、卒業まで維持させる指導ノウハウ	特に新入生が1年間諦 めないためのノウハウ	教職員	1日	8月
34	学生指導事例	教員相互のノウハウ集約や相談等のできる 場をつくれるとよい。			1日	冬
35	支援を必要とする 学生や保護者への 対応策	具体的な対応事例の紹介 講義形式、ワーク形式	1つでも多くの対応事 例が共有できれば良 い	教員	1～2日	
36	発達障害・精神疾 患と思われる学生 への対処方法	疾患・特性についての理解と対応方法につ いて	少しでも近づける。理 解ができるようになる。	教職員	1日	3h
37	発達障害等困り感 のある学生の就職 指導	行政や福祉との連携事例福祉関係者・就労 支援関係者	成功事例を知る。今後 の課題の洗い出し。	教員就職担当	1～2日	各半日～ 全日
38	発達障害を持つ学 生の就職支援につ いて	・企業の理解について、または受け入れにつ いて ・就職支援についての流れなど	・支援方法の理解	教員	1～2日	夏
39	一人ひとりの自分ら しい働き方を実現す るための支援	発達障害のある方があらゆる場面で配慮や 支援を受けられ、一人ひとりが能力を十分に 発揮できる社会づくりを願って開催する。 (講師) ・リタリコワークス岡山 大嶋隆寛氏 ・鳥取大学大学院医学系研究科 教授:井上 雅彦氏	各人の認知特性を理 解し、本人の能力に応 じた職能内容や配慮 があれば高い能力を 発揮することができる。	教員・一般	1日	12月初旬
40	メンタル面の弱い学 生の指導法	事例をたくさん取り入れて、その対処法など	ある程度指導ができる	20名	2日	8月
41	学生との接し方	現代の子に対する接し方や一人一人に対す る対応のしかたなどメンタル面を理解する講 座				
<b>■留学生に対する指導、就職、メンタルヘルスケアなど</b>						
42	留学生指導	生活教育及び就職支援に関する研修会				
43	留学生指導の注意 点	・留学生を指導する際に注意すべきポイント (宗教、慣習、行動、思考パターンなど)	・現場で即、活用(応用)	留学生担当 教員	1日	夏季休暇
44	留学生対象の就職 支援のノウハウ	留学生の就職支援としてやるべきテーマ、ス ケジュール、使用する資料、協力可能な外 部機関 等		職員	数日	通年
45	留学生とのコミュニ ケーション	ワークショップ形式	スキルの習得・獲得	講師	1日	6時間
46	留学生の効果的な 指導法(情報教育)	将来プログラマやシステムエンジニアを目指 す留学生に対して、効果的なわかりやすい 指導法について	卒業後IT関係に就職 ができる学生を育成で きるレベル	20名	2日	8月
47	留学生のドロップア ウト防止	・事例をもとにケースごとのドロップアウト防 止ノウハウの共有	・現場で即、活用(応用)	留学生担当 教員	1日	夏季休暇

S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■留学生に対する指導、就職、メンタルヘルスクエアなど</b>						
48	留学生の日本語教育について	日本語能力が高くない留学生に対して、どのような日本語教育・指導を行うと効果的に日本語能力(特に読み)を伸ばすことができるのか、日本語学校教員などの専門家から指導を受けたい。		教員	2日	夏
49	留学生向け求人情報の収集	「技人国」のビザで就労可能な求人情報の収集方法		職員	1日	通年
<b>■キャリア教育、就職指導など</b>						
50	現在の各種情報系業界に求められる人材とその育成方法について	インターネット等の広報ツールとその戦略・効果等のトレンドを学ぶ情報収集セミナー		学校運営・カリキュラム等担当教員		
51	就職	学生と企業のマッチング～早期退職をなくすには～	中堅向き		2日	夏期
52	就職指導	ESの書き方、マナー、面接などの指導をするための研修				
53	就職指導セミナー	在籍年内に履歴書を準備し、インターンシップに参加など、早めの行動をさせるために、教職員からの指導方法・協力のポイントおよび指導スケジュールの作成	教員が自ら就職指導計画表を作成し、具体的な指導ができるようになる。	教員	1日	夏/秋
<b>■企業連携</b>						
54	PBL事例紹介	地域企業と専門学校の企業連携について、各地域での取り組み事例を知る機会を設け、また専門学校と教育連携をしたい企業側がどのようなニーズが有るのか等も併せて知りたい。		教員	1日	夏
55	企業奨学金事例	事例紹介セミナー			1時間	
56	企業連携スキームの作り方	IT企業相手に学生のインターンシップの受入れ、講師派遣等の連携に関するノウハウを習得する。			1日	夏
57	企業連携の具体例と成果	・企業の選定基準 ・企業に何を求めるべきか ・成功事例の紹介	自校で行う連携の必要要件を書き出せる	管理者 教員	1日	
58	企業連携	企業連携に関する情報を知るための事例発表セミナー				
<b>■学生募集・広報など</b>						
59	[学生募集研修会] 高校生ニーズ予測と検証※分野別テーマ	今後の5年～20年などの時代の変化やニーズの変化予測と全国的な動き、先進的な募集活動校などの事例を知る情報共有会。分野別に探るテーマなど。	2020年募集活動計画の遂行。業種別・業界動向の把握。		半日～全日	夏期
60	広報募集の成功事例や新しい授業内容、取組みなど	学校、企業など面白い取り組みや打ち出し方などの事例紹介				
61	効果的な学生募集	効果的な募集をするためのツールに関する情報を知るための事例発表セミナー				

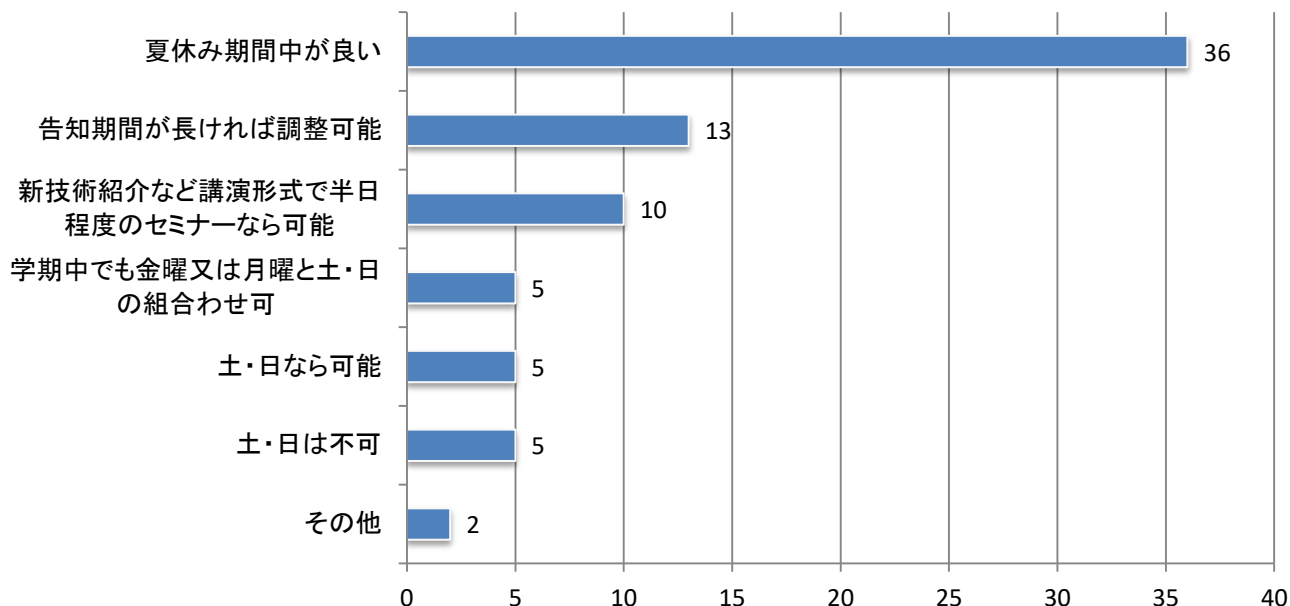
S.No	研修テーマ	内容・形式・講師等	到達目標、レベル等	対象者	日数	実施時期
<b>■学校運営全般：組織、会計、施設、安全管理など</b>						
62	管理職向け職場のハラスメント研修	・人事のプロによる研修 ・教職員の離職を少なくするため、上司によるハラスメントを理解し、行動を見直すことができる内容	各自の問題点を把握し、修正するスキルの獲得。	管理職(学科長以上)	半日	
63	職業実践専門課程の認可にむけての取り組み事例	今まで認定を受けた学校の担当者様による実務的なアドバイス	認可についての具体的な事を理解できる	担当者教員	2～3日	特になし
64	組織の適切な役職の作り方。形態の理想形	現在の組織を自己分析でき、正常化するためのアドバイスが欲しい。	円滑に運営していくための組織モデルを現実的なレベルで取り入れることができる。			
65	内部統制	内部統制の仕組み作り 講義+ワークショップ	内部統制を他社に説明できて、自校に取り入れられる。	管理職	2日	8月、2月
66	リーダーシップ研修	入社(勤続)年数ごとのレベルに分けて実施する研修		職員	1日	
67	働き方改革対応セミナー	就業時間管理、業務見直し等具体的な取り組み方法。事例紹介。			1～2日	7～10月
<b>■業務推進能力向上、効率化など</b>						
68	総務経理関連	・誰がみてもすぐにわかるファイリングとパソコン内のデータ文書の分類ができるようになる。	事務	半日	4hくらい	
<b>■その他</b>						
69	SNSの活用	成功事例			1日	冬
70	良いコミュニケーションを取るための研修	外部の方と接する時の印象をよくする伝わりやすい話し方など				
71	個人情報や著作権・肖像権について	具体的な事例をもとにここまでなら大丈夫といたことがわかるようなもの。	ポスターなどに載せる写真を恐れずに使用できる。	教職員	1日	夏
72	保護者からのクレームに対する対応力	講義からのロープレやグループワーク	対応するノウハウ	教職員	1日	2時間

問3. パソコン等を用いた演習や、グループディスカッションを伴う研修は、2～3日を要するものが多くなります。実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等をお書き添えください。

■研修次期について:

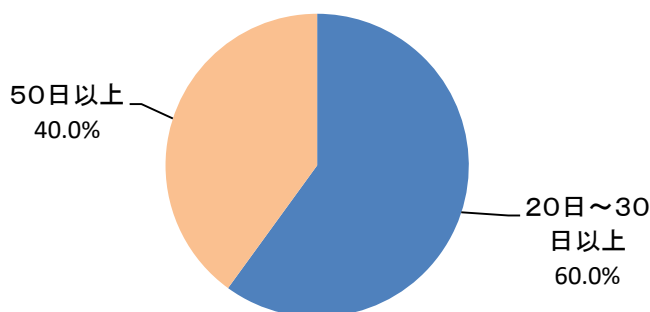
S.No	項目	回答	%
1	夏休み期間中が良い	36	73.5%
2	告知期間が長ければ調整可能	13	26.5%
3	新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能	10	20.4%
4	学期中でも金曜又は月曜と土・日の組み合わせ可	5	10.2%
5	土・日なら可能	5	10.2%
6	土・日は不可	5	10.2%
7	その他	2	4.1%
合計		76	-

※%の母数は回答者数(=49)、複数回答



◆”告知期間が長ければ調整可能”な場合、最低何日前の告知が必要？

S.No	項目	回答	%
1	20日～30日以上	6	60.0%
2	50日以上	4	40.0%
合計		10	100.0%



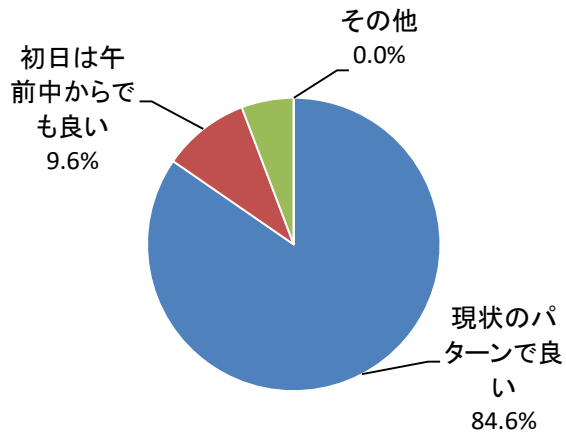
◆その他

- ・12月中旬、2月中旬
- ・春期休業期間 2月中旬



■日程について:

S.No	項目	回答	%
1	現状のパターンで良い (初日:午後スタート、最終日:15時頃終了)	44	84.6%
2	初日は午前中からでも良い	5	9.6%
3	最終日の終了時間は遅めでも良い	3	5.8%
4	その他	0	0.0%
合計		52	100.0%



◆その他  
なし

問4. 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

S.No	視察地	視察内容	何月頃	期間
1	アメリカのエンターテインメント関連企業	社員教育プログラムの見学	7月頃	5日くらいで
2	大阪府	大阪モード学園	2月頃	1日くらいで
3	関東地区	AI分野の授業を行っている学校、AI事業者	8月頃	2日くらいで
4	関東のブライダル専門学校	ブライダル系のオープンキャンパスについて伺いたい	8月頃	1日くらいで
5	京阪神方面	京阪神方面で活躍されている専門学校の学生募集動向と現状の視察	7月頃	1日くらいで
6	シリコンバレー	IT先端企業の見学	8月頃	10日くらいで
7	地方の専門学校	同規模の学校の募集・学生ケア・学校運営など	9月頃	1日くらいで
8	東京	木工・金工等の作業室		
9	東京都	他のデザイン学校の現状や雰囲気を知れる見学会	8月頃	1日くらいで
10	場所は問わず	協会として推薦できる学校の視察	10月頃	1日くらいで
11	文化服装学院	OCや授業などの見学	9月頃	1日くらいで
12	米国のMakeSchoolを見学	企業連携の方法や育成人材の把握	8月頃	5日くらいで
13	留学生の就職支援・指導で実績のある専門学校	就職支援・指導について話を聞く		
14	具体的な学校名があるわけではありませんが先進的な取り組みをされている学校様があれば視察をさせていただければと思います。			

問5. 職業実践専門課程導入にあたり、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・連携先企業・業界団体との日程調整が難しい。
- ・企業と連携した教員研修の機会が少ない。
- ・企業と連携した教員研修の機会を増やしたいが、時間の確保が難しい
- ・企業連携する企業が少ない
- ・時間調整
- ・手続き等が困難
- ・企業連携の難しさ(カリキュラムの内容と企業の業種が合わない部分をどうするか)
- ・資格取得との兼ね合い(企業連携を深く行えば行うほど、資格取得に向けた学習時間が少なくなる)
- ・教育課程編成委員会の日程調整後の委員の欠席
- ・学生数が減っていて、服飾に興味を持つ子が減っているのかなと不安。
- ・考えながら行っているが、それが正しいのかわからない時がある。
- ・企業様と取り組みをする時間の確保。※授業外になってしまうケースが多く、なかなか時間がとれない。
- ・企業と連携した学生研修を増やしたいが、企業側(業界)の人材不足のため受入れが難しい。
- ・企業と連携した教員研修の機会が少ない
- ・企業連携の講師手配および成績評定マネジメントやカリキュラム連携の工夫
- ・教育課程編成委員会だけでは、業界のニーズを取り切れない。業界のニーズを把握できる手段が欲しい。
- ・現場対応に日々追われていて、じっくりと組織について検討する時間がない。
- ・地元企業との新規連携
- ・専門職大学の認可をとるための分かりやすい基準が知りたい。
- ・職業実践専門課程設置校がどのような企業連携をしているのか知りたい。
- ・新任の為、今後色々と考えていこうと思っています。
- ・手続きや企業連携時の書類のやり取りが煩雑になる。実制作と書類の確認やり取りの働力が負担。
- ・連携企業・団体との調整
- ・連携先企業
- ・連携先企業、業界団体のスタッフを招待してのイベントの準備・手続きがスムーズになりにくい。
- ・時間確保・経理等の事務処理など。
- ・連携先企業・業界団体の委員依頼、授業実施に置いての時間調整・講師料との折り合いが難航する
- ・連携先の確保
- ・連携する企業の確保が難しい。教員の確保が難しい。(講師料の金額も含む)

問6. 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

- ・e-Learning教材の先進的活用事例
- ・2020年4月から改訂される基本情報技術者試験 午後言語問題のpython対策について
- ・学生とのコミュニケーションと授業・授業準備の時間配分
- ・学生の多様化に対応するためのスタッフの人数や時間の確保
- ・学生のメンタル面でのケアに対し困っている。ガイドラインが欲しい
- ・学生募集に関すること
- ・心の問題を抱える学生対応等
- ・教員の確保が難しいこと。退職教員の補充がなく、ノウハウを積み上げられない。
- ・現場への業務のコントロールがないまま、新しい業務が追加されていくこと。  
それにより、学生対応の時間がとりづらいこと。
- ・カリキュラムに現場の意見が反映されにくいこと。
- ・就職状況がよくなり、大学数も飽和していることから、学生数確保が最優先で、アドミッションポリシーに合った学生を確保できない事。それにより、学生指導(学力・素行・精神面)がより難易度が増している事。
- ・自校の独自性の強い学生募集の確立
- ・授業評価のあり方(客観的な指標の設定、ルーブリック評価)
- ・支援を必要とする学生とその保護者に対する具体的対応策(保護者自身も障害を持っている場合あり)
- ・専門教員の人材確保および人材育成(専門能力開発)
- ・経営企画業務の担当者の人材育成
- ・留学生の生活指導において休みがちな生徒への効果的なアプローチ、指導ノウハウ
- ・留学生の対応について(生活全般、各事業運営のノウハウ)
- ・学生数が少ない現状で、学校の運営や授業を円滑に行うための人員確保が金銭面・地域事情も重なり思うように進まない。教員の負担だけが大きくなっている。
- ・学生の基礎学力の低下(中学までの数学など)
- ・学生募集について
- ・教員同士の仲が悪い
- ・教員の確保と育成
- ・業務、行事の簡素化。削減していかないと新しいことへの対応・改善・検討ができない。
- ・グレイゾーンの学生に対しての就職指導または斡旋
- ・高校時代、通信制や欠席が多いなど、心の問題を抱えた学生や家庭環境が複雑で協力が得られないなどの学生が増えてきていること。
- ・心の弱い学生への対応
- ・障害(精神)学生の指導及び就職斡旋
- ・職業実践に向けた各組織の運用ノウハウ
- ・新任の為、今後色々と考えていこうと思っています。
- ・新労基法への対応
- ・多種多様な学生に、授業→就職対応を各自に合わせたやり方で取り組まなければならない。教員が雑務も含め多種な業務に関わっており多忙。イベントや学外の活動もあり、時間の確保が困難となっている。
- ・発達障害・精神疾患と思われる学生の就職
- ・メンタル問題を抱える学生指導
- ・留学生のアルバイト時間オーバー(入学前の)
- ・留学生の就職支援・指導については、活用可能な資料、ノウハウが少なく、それに関する情報があれば是非ともお伺いしたいと思います。特に今年は特定技能がスタートするため、その影響も踏まえて留学生の就職状況を理解したいと思います。